

2026年3月9日

加盟団体代表者 各位

公益財団法人 JAPAN BOWLING
競技運営改革委員長 柳川 弘行
(公 印 省 略)

2026年度からの各主催大会における監督会議について

拝啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当団体の諸事業に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般開催した競技運営改革委員会において監督会議の在り方について審議し、その結果、兼任監督が増加している昨今の状況を踏まえ、2026年度から監督会議は実施しないことといたしました。

本件に伴うその他の取り扱いは以下の通りといたしますので、ご確認の上、ご周知くださいますようお願い申し上げます。

ご不明な点等ございましたら、JB事務局(担当：鈴木)までご連絡ください。

敬具

記

1. 監督会議資料について

今後は「監督資料」として、従来と同内容にて作成いたします。その内容に関するご質問等は、各団体から主管連盟へお問合せください。

2. 主催者及び主管連盟からの伝達事項について

予選1回戦の開始前に、選手及び監督へ向けて、シフトごとに注意事項説明の時間を設けます。投球の準備を進めながらでも結構ですが、聞き漏らしのないようご対応お願いいたします。

3. 登録選手の変更や、補欠選手の追加登録について

今後は、基本的にはじめの競技受付までとします。

4. 国民スポーツ大会(リハーサル大会含む)及び日本スポーツマスターズについて

大会により、2026年度からの適用は困難な状況です。今後、公益財団法人日本スポーツ協会及び開催市実行委員会、主管連盟と調整を進め、適用可能な大会より進めていく予定です。

以上